

平成 17 年 1 月 24 日

各 位

ファイナンス・オール株式会社  
株式会社テックタンク

**ファイナンス・オールグループ、ISID と新リアルタイムトレーディングツールを共同構築  
イー・トレード証券の新サービス「PowerE\*TRADE (仮称)」の開発を受託 -**

ファイナンス・オールグループのシステム開発会社である株式会社テックタンク(東京都港区、代表取締役社長:前田稔、以下「テックタンク」)およびその子会社である Finance All Solutions Co.,Ltd(大韓民国ソウル特別市、代表者:Seok-Hee Park、以下「FAS」)は、株式会社電通国際情報サービス(東京都港区、代表取締役社長:瀧浪壽太郎、略称:「ISID」)と共同で新リアルタイムトレーディングツールの開発を受託し、イー・トレード証券株式会社(代表取締役社長 井土太良、本社 東京都港区、以下:「イー・トレード証券」)の新サービス『PowerE\*TRADE (仮称)』の構築を行いました。

この度イー・トレード証券が開発した新リアルタイムトレーディングツールは、投資に必要な情報収集から注文発注までを一貫してサポート出来る取引機能を搭載したツールです。WEB を主体とした株式売買の受発注サービスを行うイー・トレード証券は、デイ・トレーダーに代表される、アクティブに取引を行う投資家をサポートするため、より高機能のトレーディング支援サービス『PowerE\*TRADE (仮称)』を、本年 2 月下旬を目処にサービス提供開始する予定であり、これにより、取引回数の増大と既存顧客のロイヤルティ向上、さらには顧客リテンションを目指しています。イー・トレード証券のお客様は、『PowerE\*TRADE (仮称)』を利用することにより、プロのトレーダーが使用する情報と等しい投資情報を得ることが可能となり、情報スピード・執行スピード・安定性が最大限の状態での株式取引を行うことが可能となります。

テックタンクは、従来からアカウント・アグリゲーションなど、韓国の先進的なソリューションを日本市場に展開しており、このたびの開発にも、オンライン・トレーディングでは先進国である韓国のソリューションを利用しております。本ツールの共同開発では、テックタンクが、ISID の画面機能基本設計に従い、FAS とともに韓国の開発基盤の日本対応を行いました。この開発基盤の特長は、1)証券会社の個々のニーズにあわせて画面、機能を短期間に構築することができる柔軟性の高さ、2)画面表示部分とデータ配信部分とを完全に分離することによる高いメンテナンス性能、3)独自プロトコルの利用により、より多くのフィード情報を一度に画面表示できるハイパフォーマンス性、となっております。

## 【新リアルタイムトレーディングツール『PowerE\*TRADE (仮称)』概要】

### < 主なサービス内容・特長 >

#### オンライン証券初！「ドラッグ&ドロップ注文」

トレーディングツールで初めて、ドラッグ&ドロップを使った注文機能を実装しました。個別銘柄の株価気配情報に表示された気配に、注文準備として数量を入力しておきます。その準備注文を発注したい価格の板にドラッグ&ドロップすることで発注できます。単に眺めるだけのリアルタイム情報提供サービスにとどまらず、そこから素早く売買に進める機能を搭載しました。これまでは、機関投資家などのトレーダーにしか与えられなかった機能で、個人投資家向けでは、初めて提供される機能と言えます。数秒を争うアクティブトレーダーのために開発した最上位の発注機能となります。

#### 気配値上にユーザの注文を個別表示

全てのサイズの気配値(板)上にユーザの注文を気配数とは別に表示します。これによって、現在の気配値状況をウォッチしながらユーザ自身の注文をウォッチすることが可能となりました。一度に複数銘柄の注文を出すようなユーザにとって、注文一覧のビューをタイル画面(気配値(板)を並べて表示する)で表示すれば発注後のウォッチが容易にできるのも特長です。

#### 注文準備コンセプト

新規注文の素早い発注を可能にするために、複数の注文をあらかじめ準備してストックする機能を追加します。「取引ポップアップ」「個別銘柄」で表示される気配値画面では注文準備オブジェクトを板上に表示が可能であり、ドラッグ&ドロップすることで任意のタイミングで指値での発注が可能となります。まとめて一括発注も出来る一方、先に設定した指値から変更して個別銘柄毎にドロップも可能となります。

#### 素早いポジションの返済売り

ユーザの注文が約定した直後に素早く反対売買注文を発注出来るインターフェイスを実装します。「取引ポップアップ」「個別銘柄」に組み込まれる大サイズの気配値にはユーザの注文、注文準備に加えてユーザのポジションもオブジェクトとして表示します。ポジション・オブジェクトをドラッグして反対売買の注文エリアにドロップすることにより、新規注文の約定を確認後、すぐに反対売買アクションを開始できるというアクティブトレーダー指向の機能です。

#### 多様なアラート機能

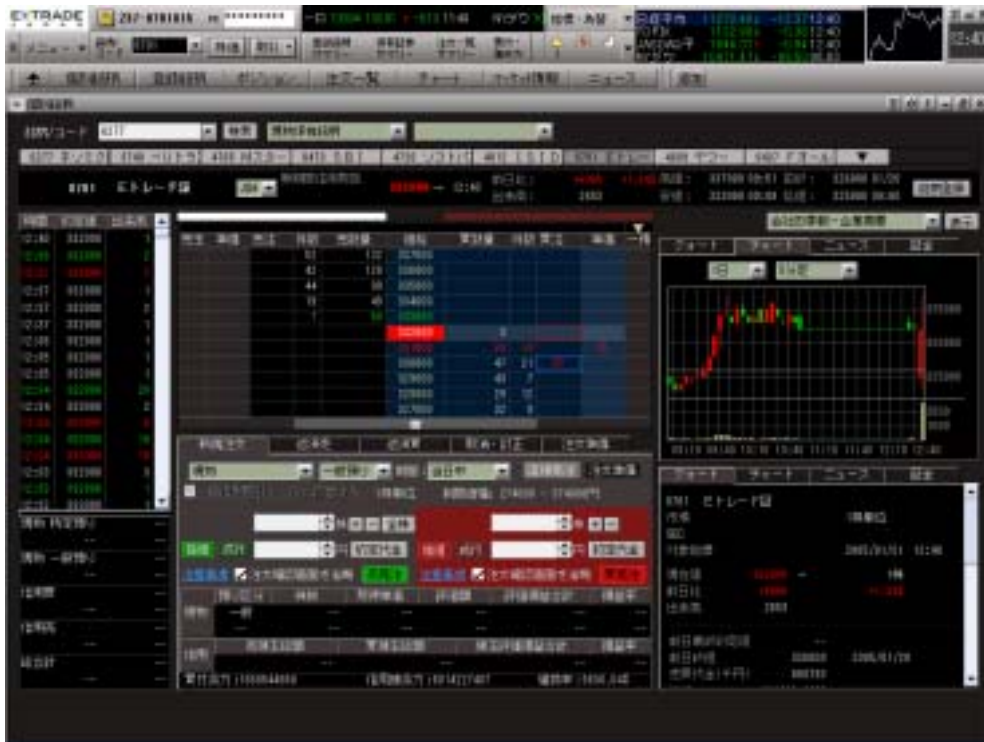
「株価・市況」「信用建玉損益」「注文」に対してユーザが条件を設定し、その条件が満たされるとメール、バルーン、ツールバーなどにアラートメッセージ表示を行います。投資家自らの目で常に必要な情報の全てをウォッチすることは不可能であり、それを補う機能として新アラートサービスを提供します。

#### カスタマイズ可能なマイページ

ユーザが任意のコンポーネントを自由に組み合わせることによって、ユーザ自身の投資スタイルに合った情報表示を可能としました。既存のメインページでは満足出来ない、リテラシの高いアドバンスド・ユーザのニーズを満たした機能です。

< 画面サンプル >

個別銘柄画面：(板発注、チャート、クオート、ポジション)



登録銘柄リスト: タイル小 12 銘柄表示



The screenshot displays a trading platform interface with a grid of 12 stock tile charts. Each tile shows a small line chart and key financial data for a specific stock. The tiles are arranged in three rows and four columns. The top row includes tiles for 'C&L', '日産', 'F&E', and 'WHFC'. The middle row includes 'M&S', 'マツダ', 'ソフトバンク', and 'ソフトバンク'. The bottom row includes 'I&S', '日産', 'M&S', and 'ソフトバンク'. Each tile provides a visual representation of the stock's price movement and essential metrics like volume and price.

マーケット情報画面: サマリ



The screenshot shows a 'Market Information Summary' screen. It features several sections:
 

- Index Summary:** A table listing major indices such as Nikkei 225, TOPIX, and Nikkei Average, along with their current values and percentage changes.
- Market Overview:** A central area with two small line charts showing market trends.
- Market Data Tables:** Multiple tables on the right side providing detailed data for various market segments, including 'Market Data', 'Market Data', and 'Market Data'.
- News Feed:** A section at the bottom left displaying a list of news items with their titles and timestamps.

## 【リアルタイムトレーディング開発ソリューション概要】

### < 主なサービス内容・特長 >

#### SDT (Screen Designer Tool)

様々なコントロール(画面要素)を組み合わせ、グリッド系、テーブル系の様々な画面を構築できます。複雑なユーザインターフェイスを要する画面は DLL として構築、SDT に組み込んで画面構築が可能です。マウス制御、ボタン制御などスクリプトレベルでの記述で可能です。

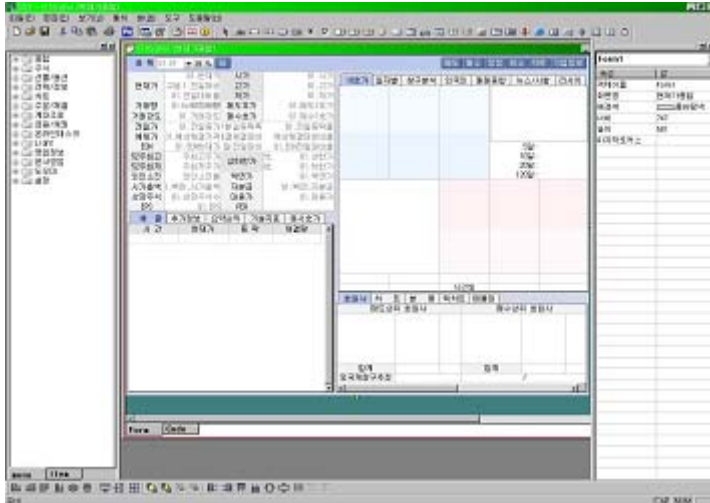
#### Query Maker

画面上のフィールドとサーバーからの情報を連係させるツールです。この方式により、サーバーサーバー側開発とクライアント側開発を完全に分離することができ、非常に効率の良い開発が可能となります。

#### サーバーソリューション

情報系、業務系システムと接続するために API、各クライアントへ配信する基本モジュールなどから構成されています。証券トレーディング用に設計、構築されているため、サーバー障害による切り替えなどの基本機能全て保有しております。

#### 画面開発ツール:SDT



### < 株式会社テックタンク 会社概要 >

所在地 : 東京都港区六本木 1-6-1  
代表者 : 前田 稔  
設立年月 : 平成 13 年 8 月 (営業開始)  
資本金 : 150 百万円  
事業内容 : IT ソリューションの提供  
URL : <http://www.techtank.co.jp/>

< Finance All Solutions Co.,Ltd 会社概要 >

所在地 : 大韓民国ソウル特別市麻浦区新井洞 28-2 ソンジンビル 4 F  
代表者 : Soek-Hee Park  
設立年月 : 平成 16 年 5 月  
資本金 : 7 億ウォン  
事業内容 : システム開発

本件に関するお問合せ先 : ファイナンス・オール(株)IR 室 担当:金井、中里 03-6229-0816

以上